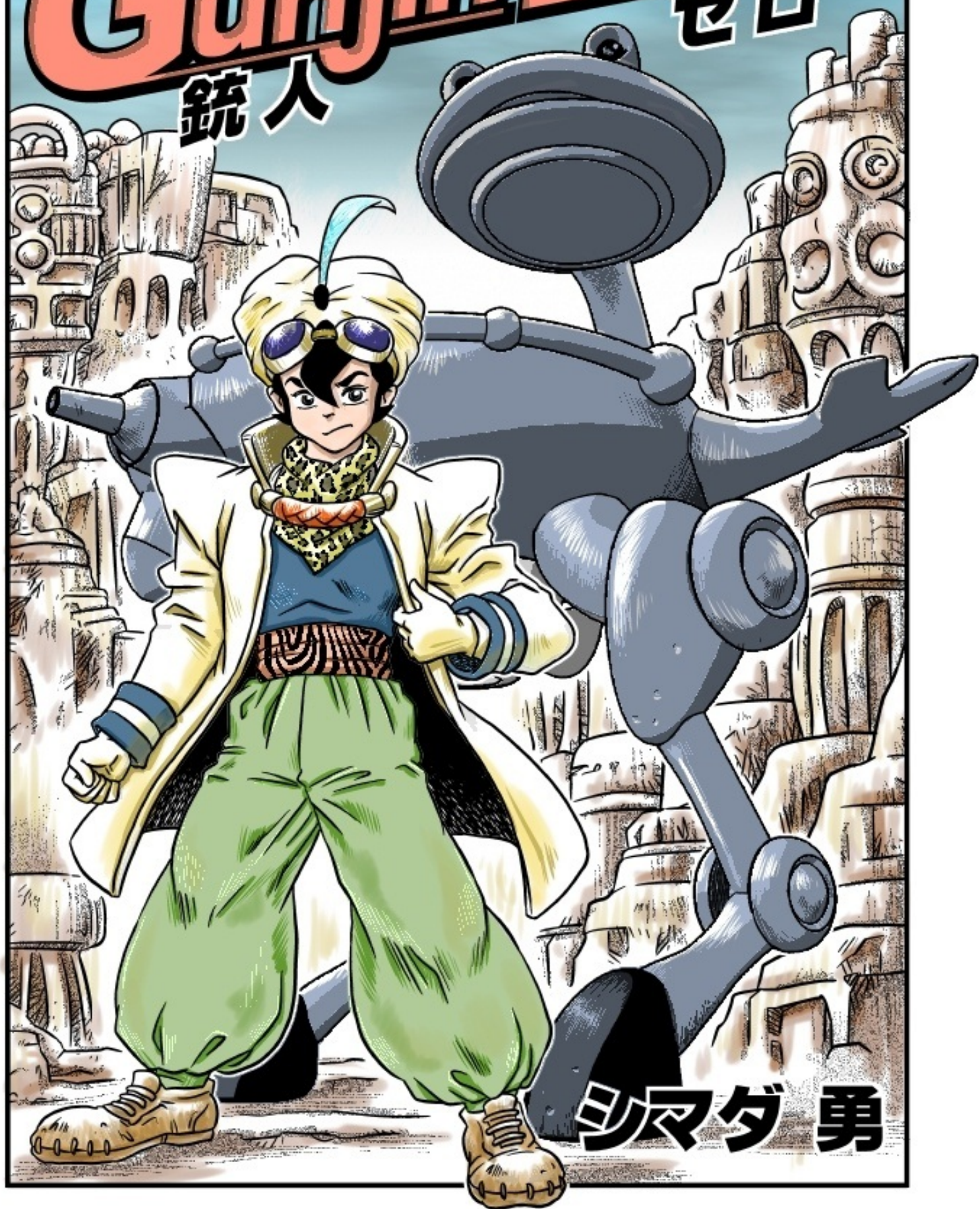


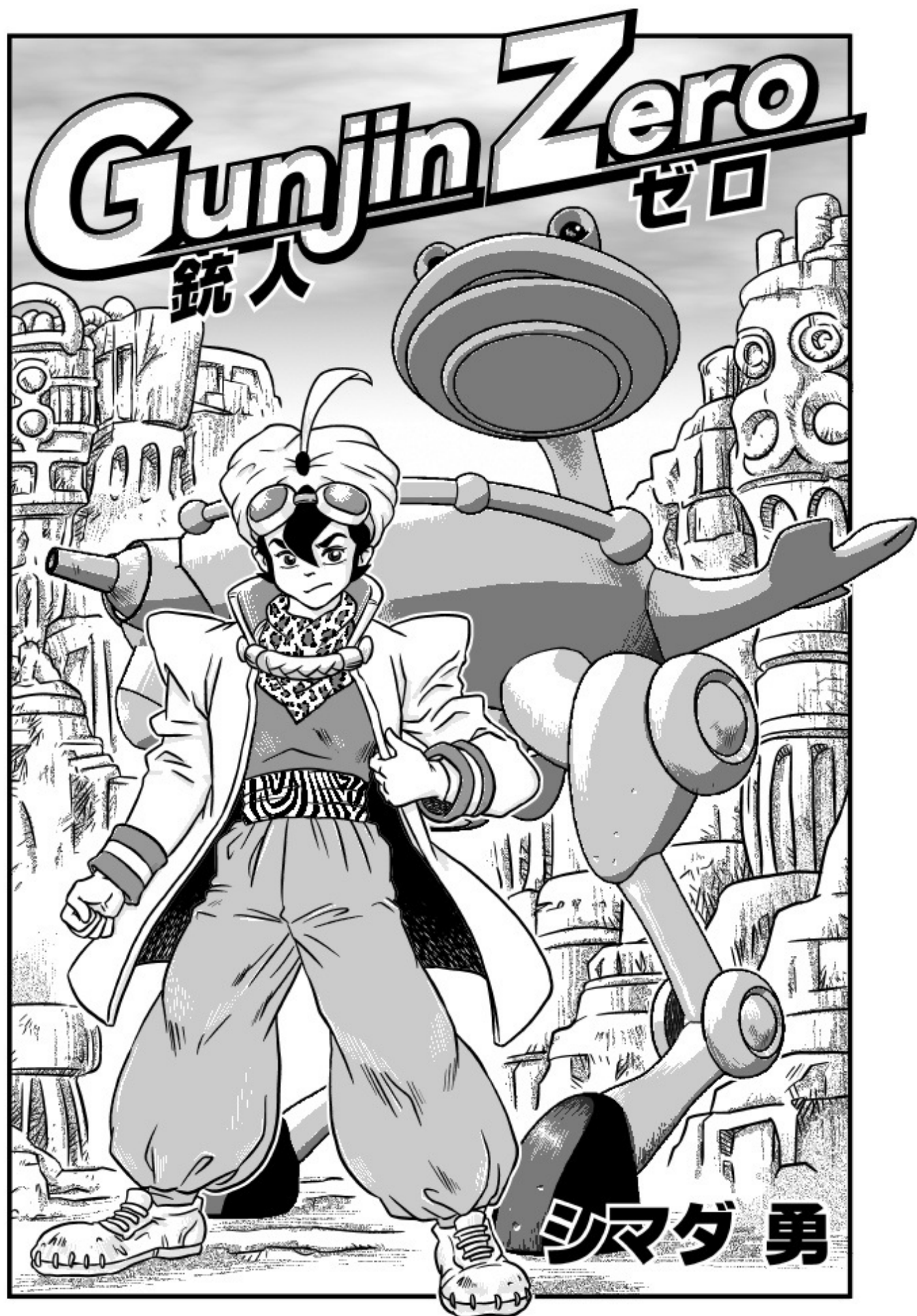
Gunjin Zero

銃人

ゼロ



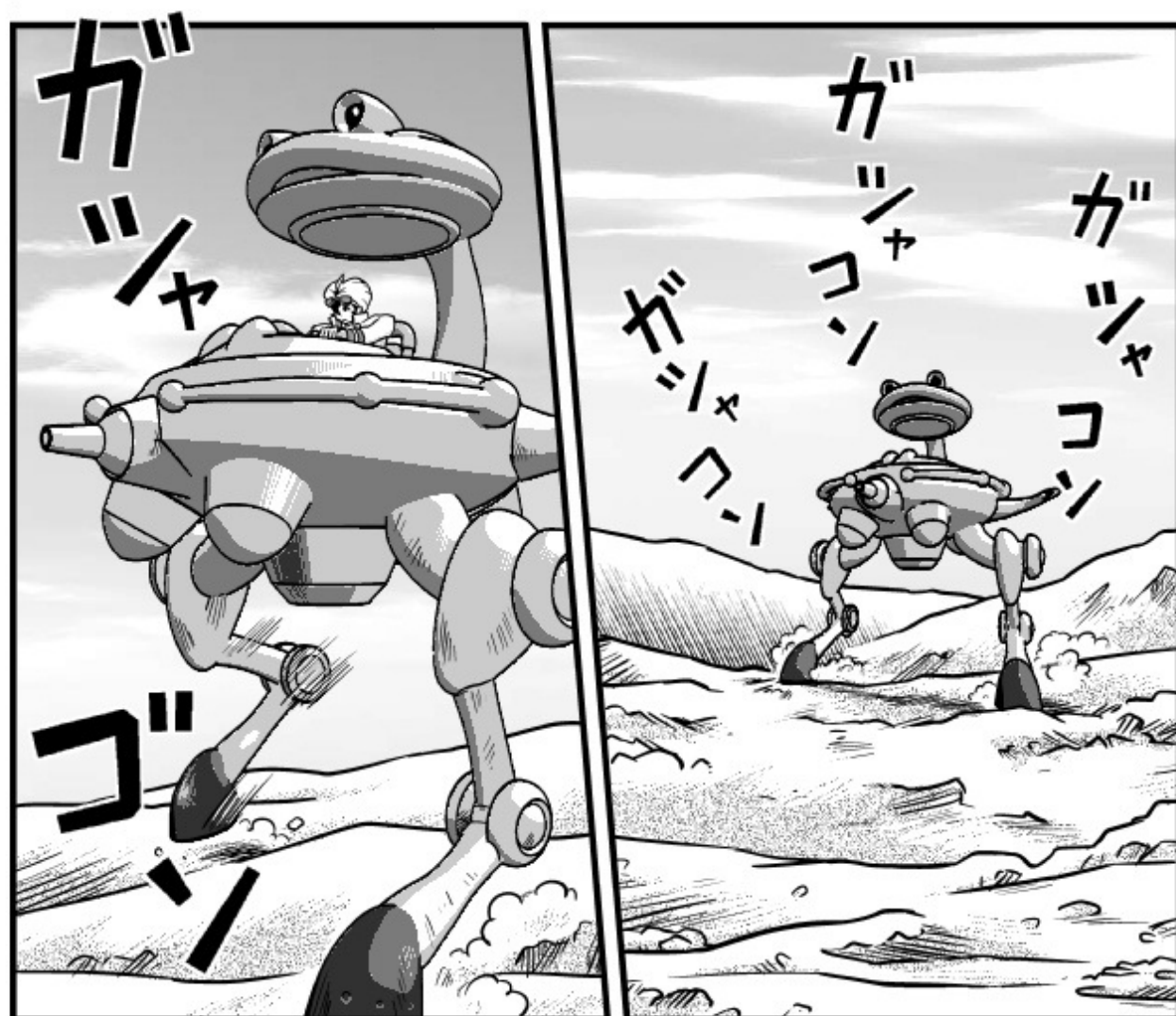
シマダ 勇



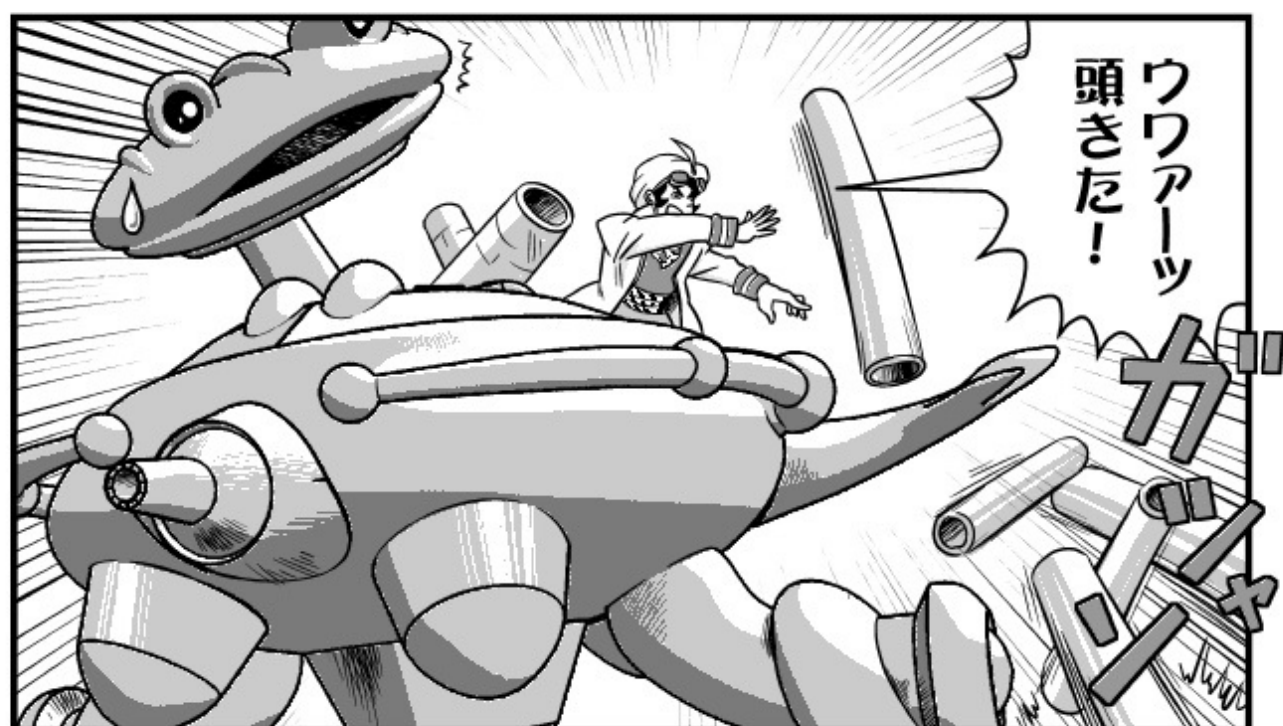
：はるか
はるか遠い未来

かつて繁栄を極めた
古代文明は滅び去り
岩と砂漠の荒れ果てた
大地が広がっていた

ガッ
ッ
コン
ガッ
ッ
コン
ガッ
ッ
コン







だいたいおまえを
遺跡から掘り出して
やったのは誰だと
思ってるんだ？

ハイ
ますたーぜろデス

ガッ
コッ
コッ
コッ

遺跡を
探し回って
足りない部品を
かき集めたのは
誰だ？

ハイハイ
ますたー
デス

苦勞の末
おまえを
組み立てた
のは誰だ？

ハイハイハイ
アナタノ
オカゲデス

それじゃあ
この設計図を
よく見ろ！

おまえの
胴体には
全長8リーグの
ビーム放射砲が
装備されてた
はずなんだ

500リーグ
先の標的を
一瞬で黒焦げに
する破壊力だぞ

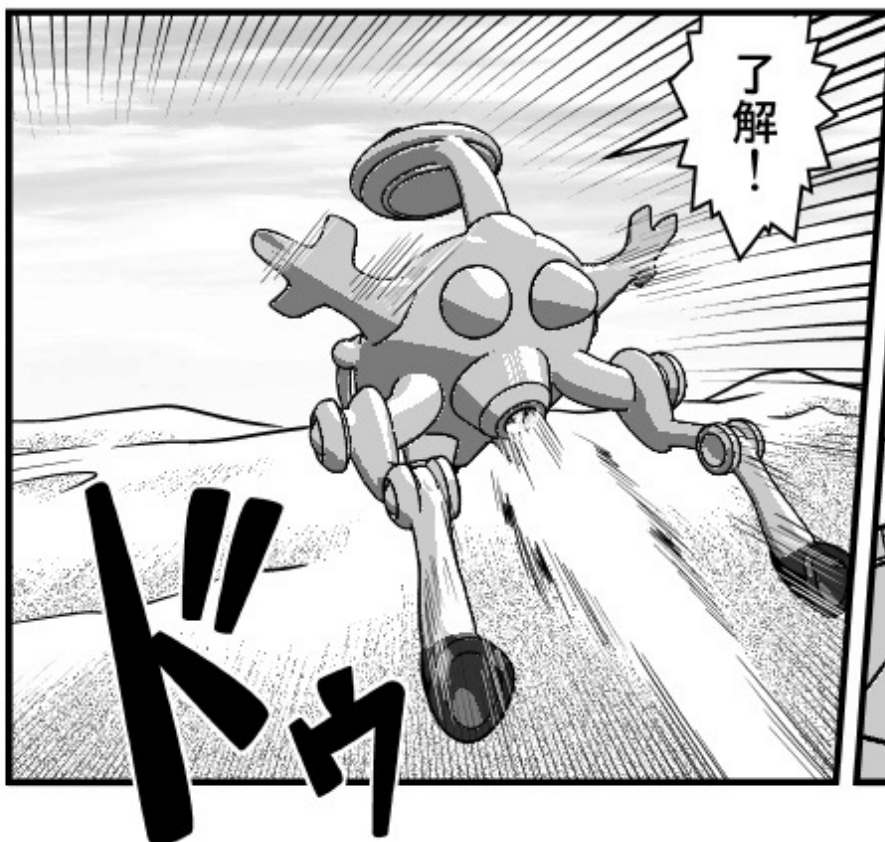




右前方
1300リーク
ソノ後方ニモ
別ノ移動体



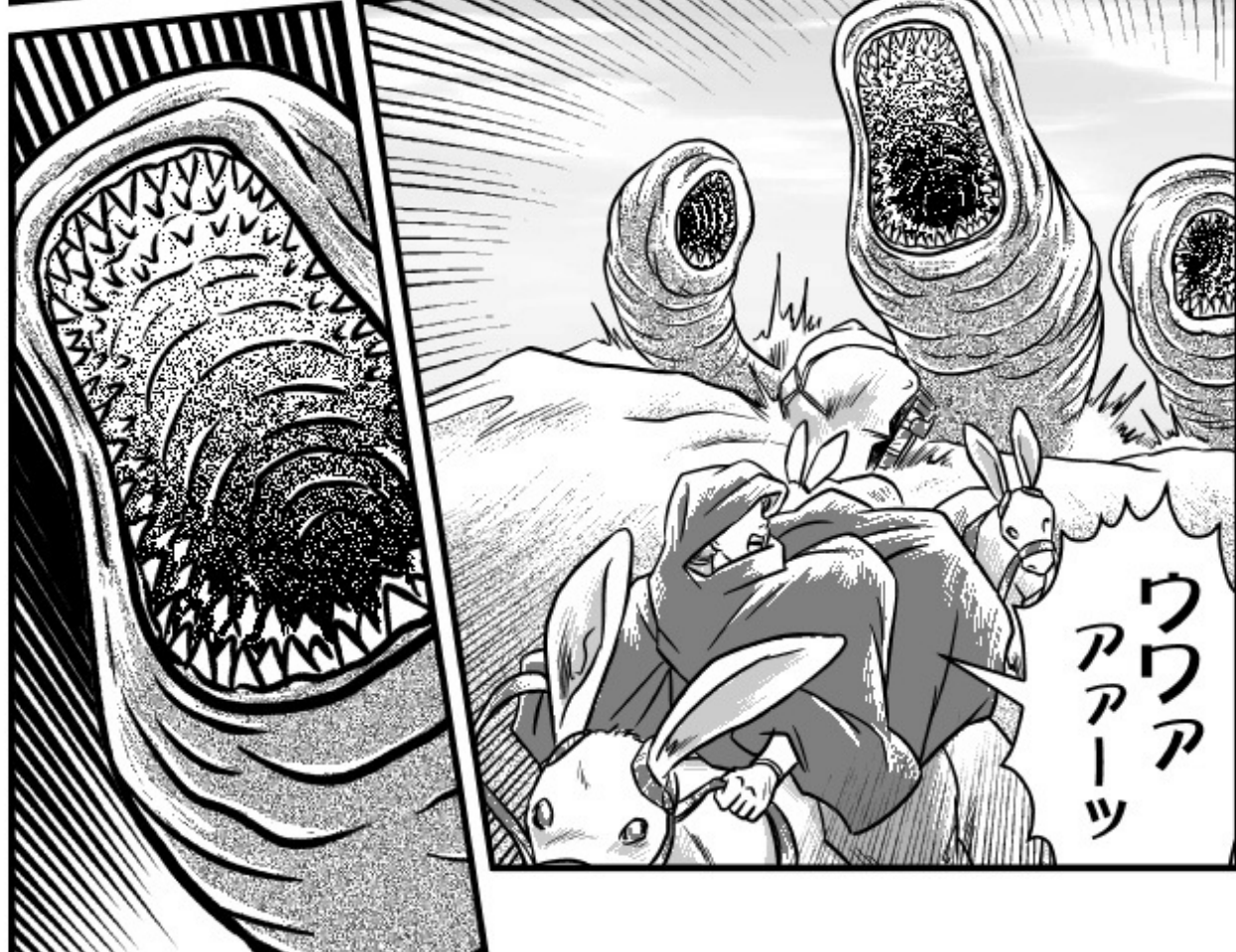
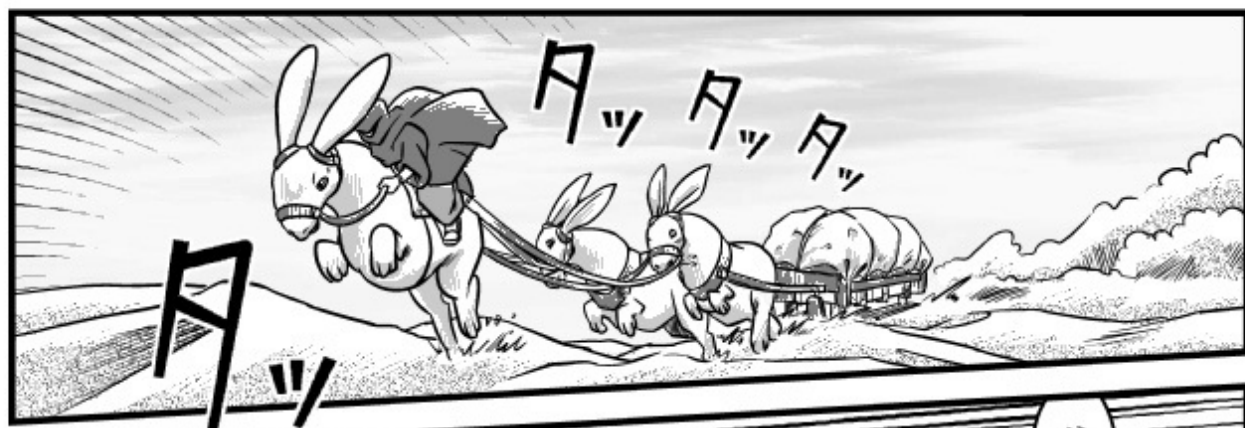
ラバットの
隊商だ！
サンド
イーターに
追われ
ている！

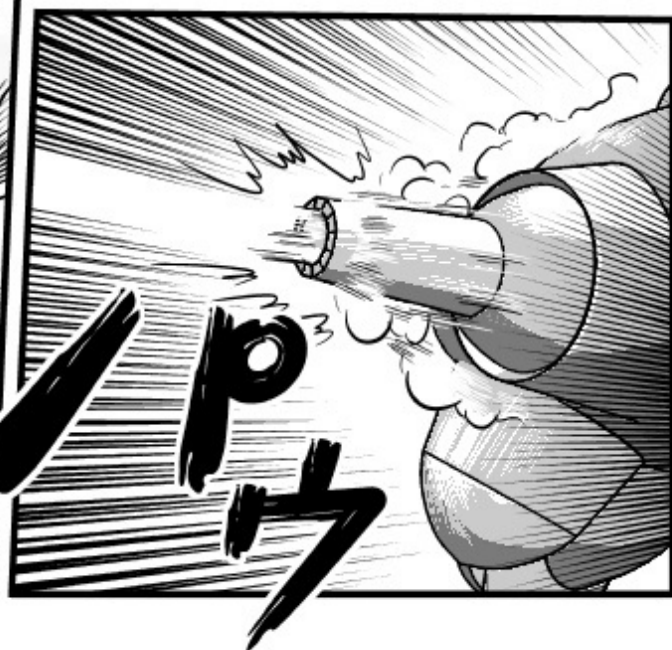
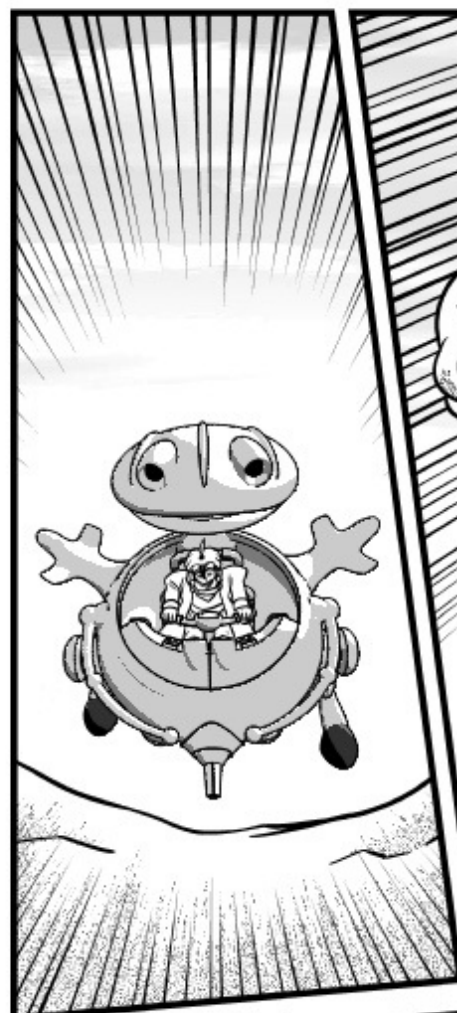


了解！



ゲロック
メシの種だ
行くぜ！

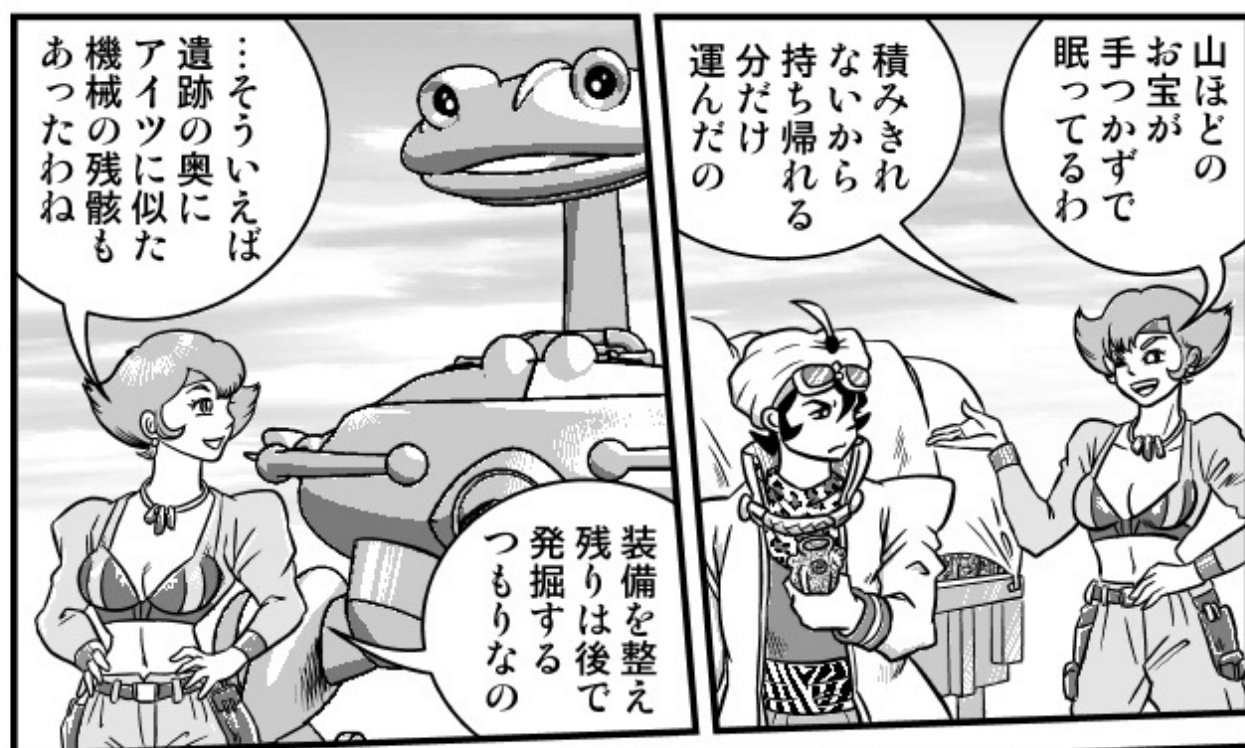




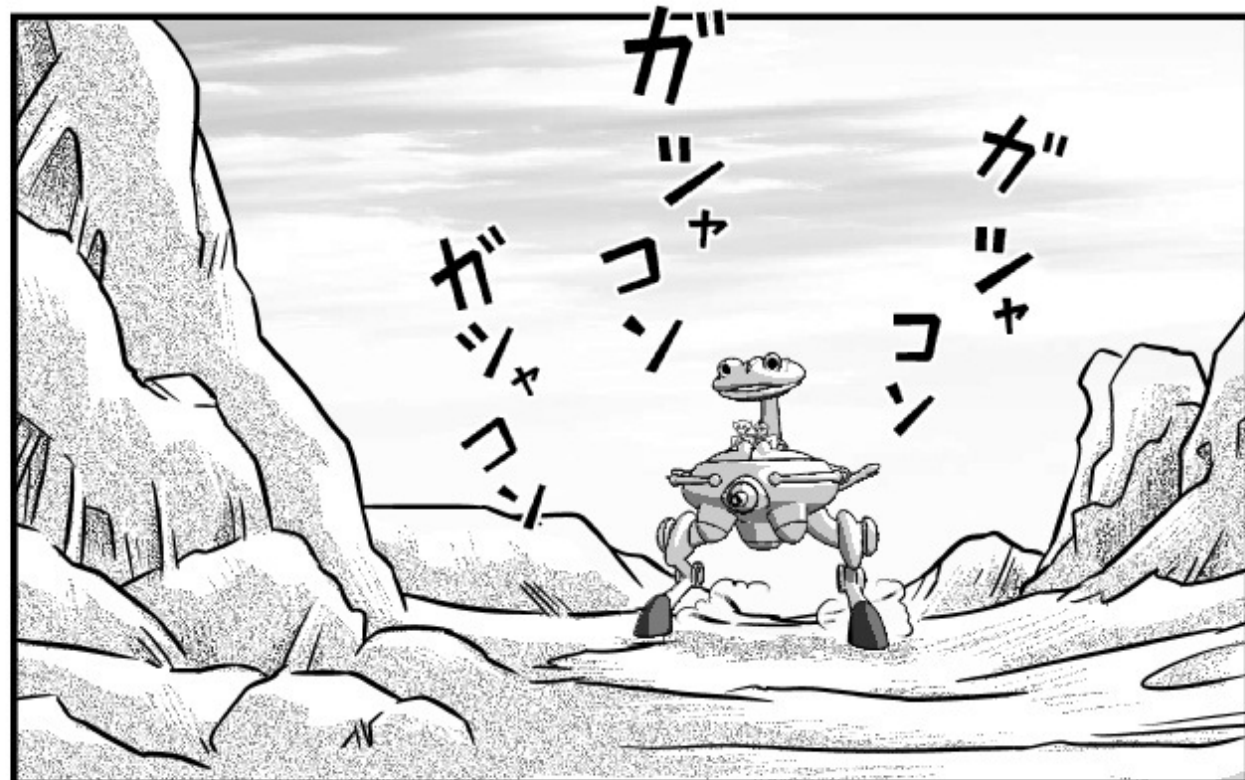
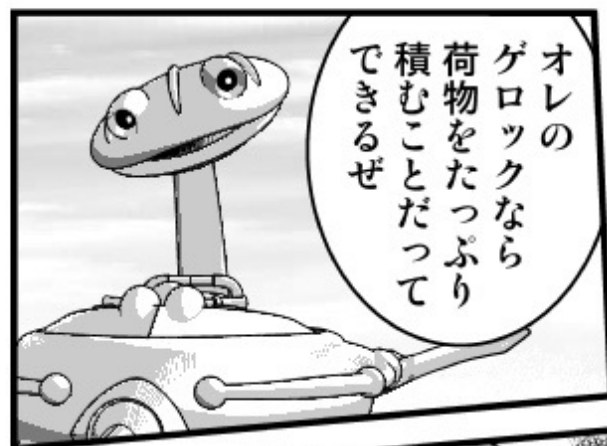


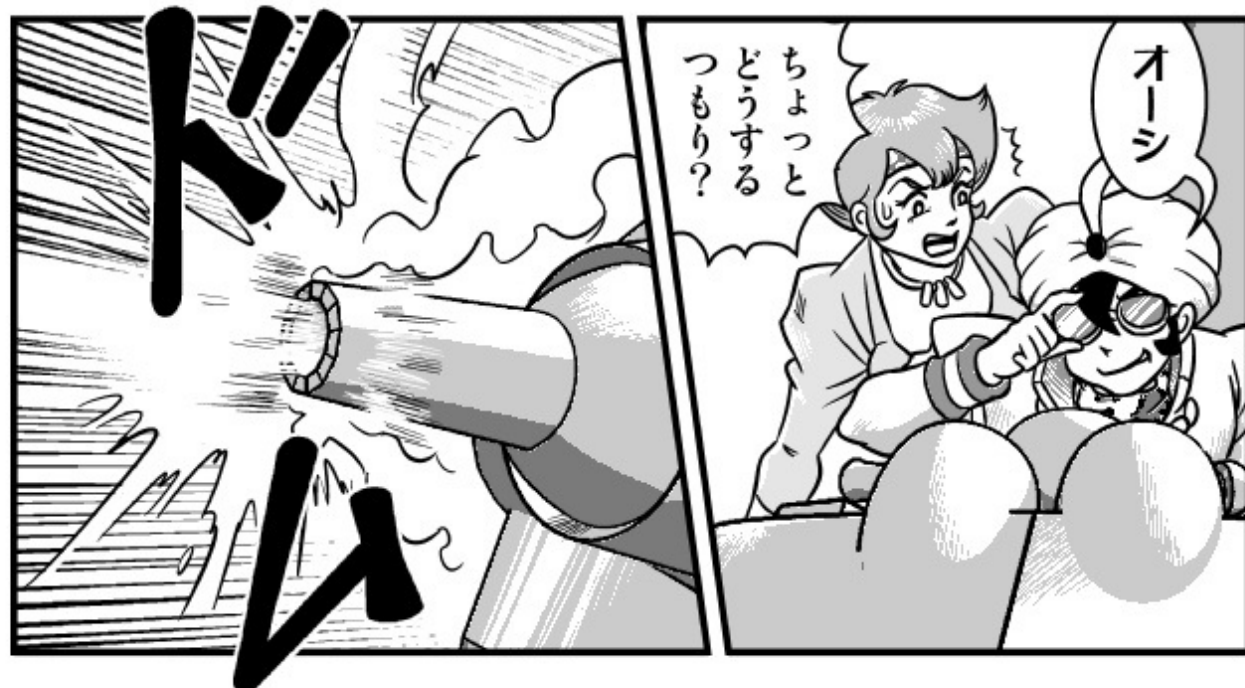
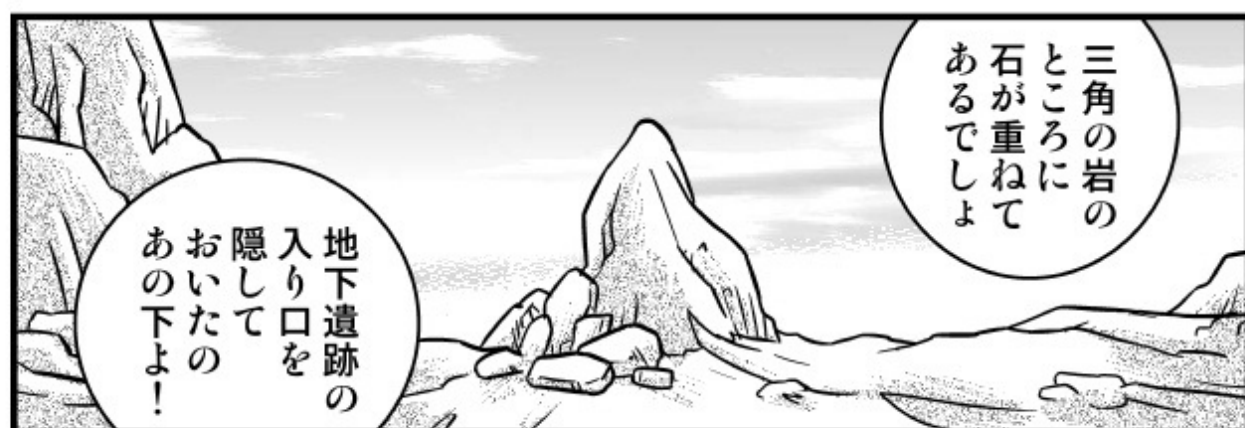




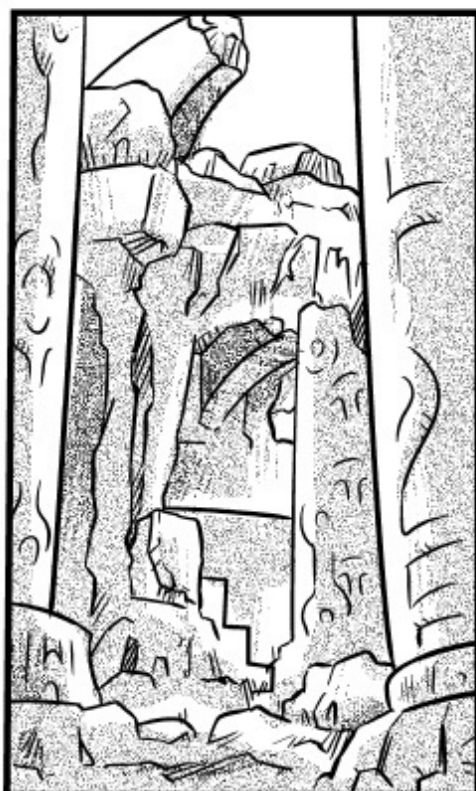


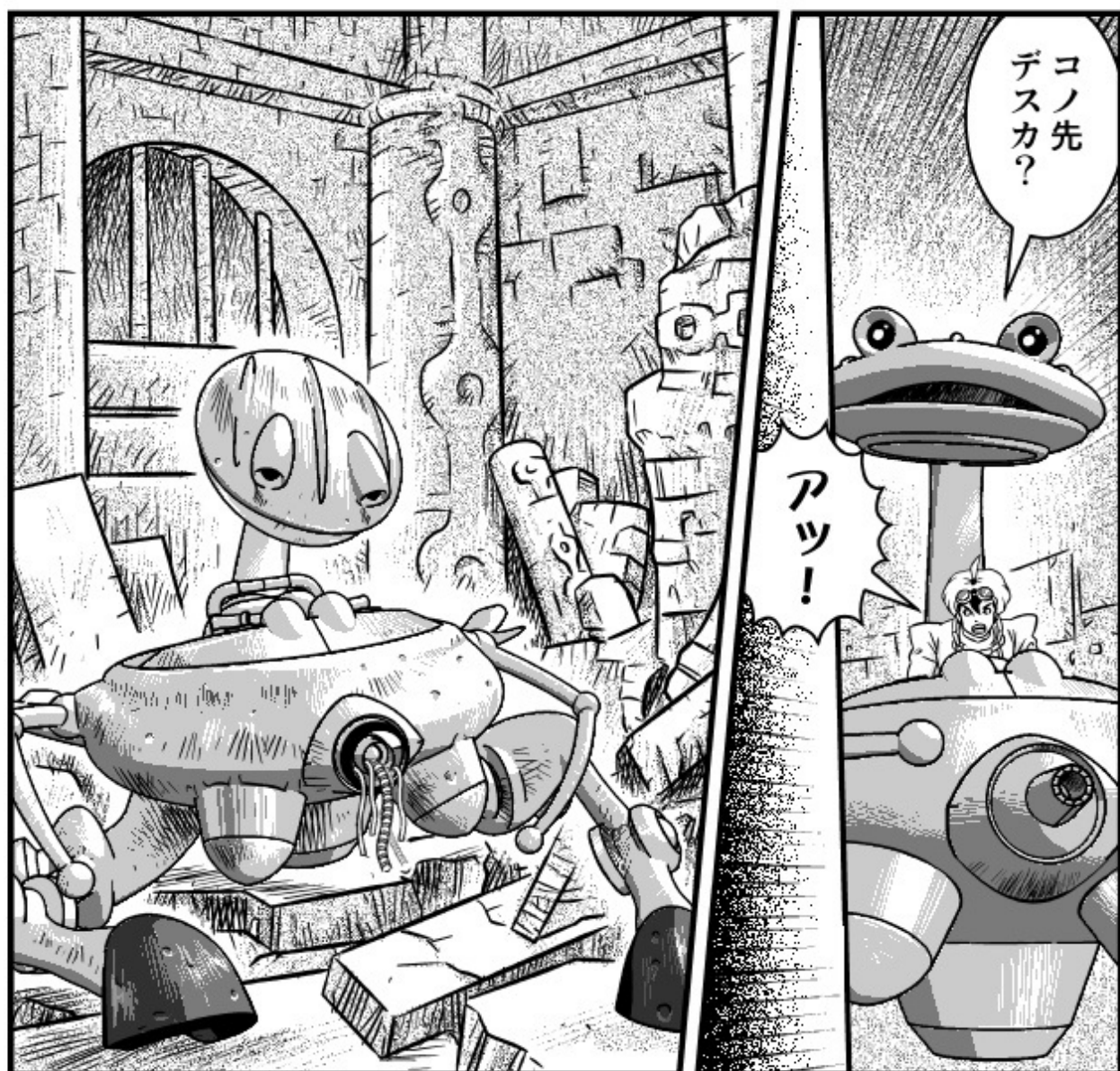
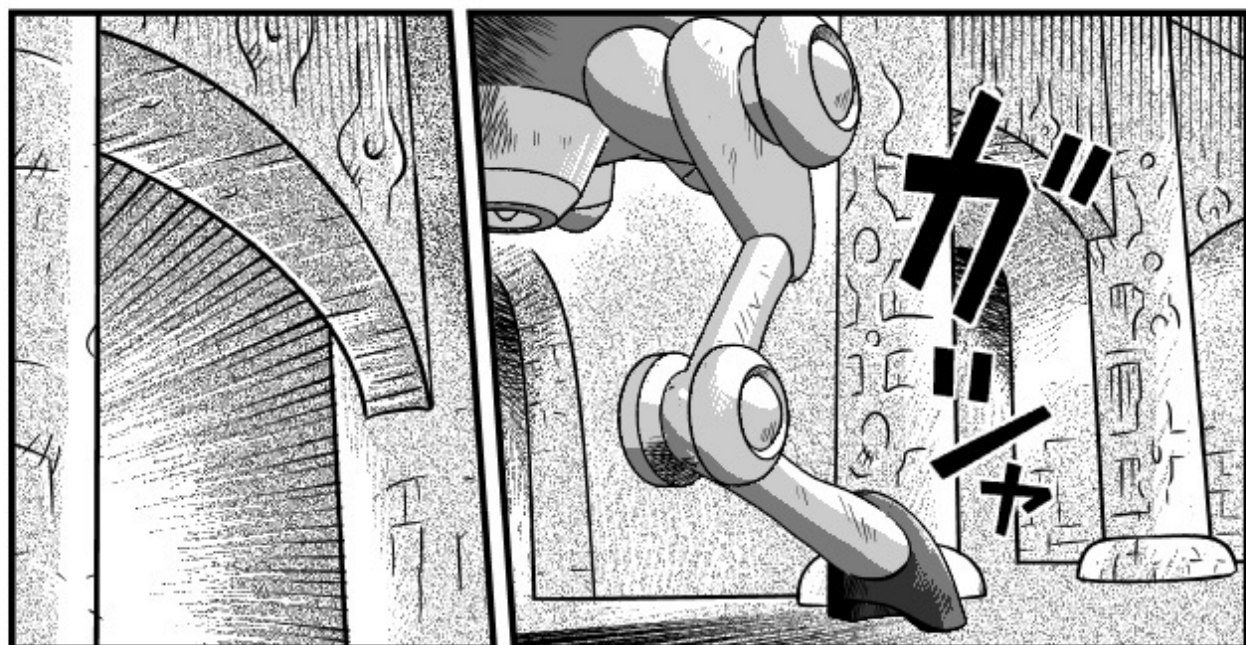














思ったより
壊れてるな

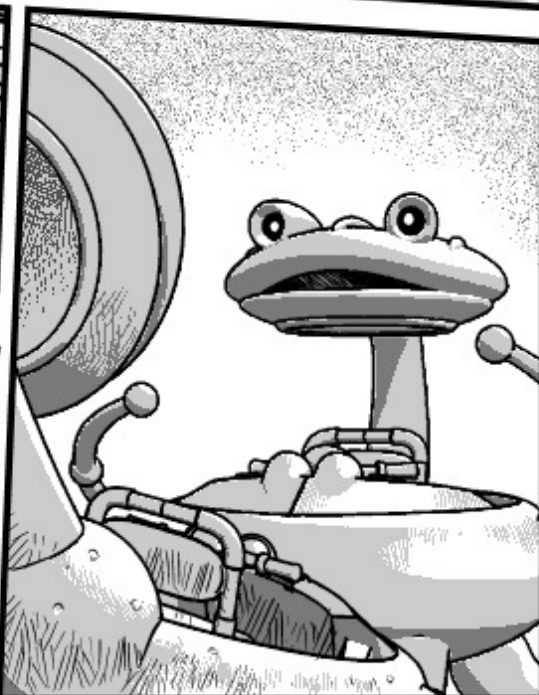
砲身を
無理やり
引き抜いた
みたいだ

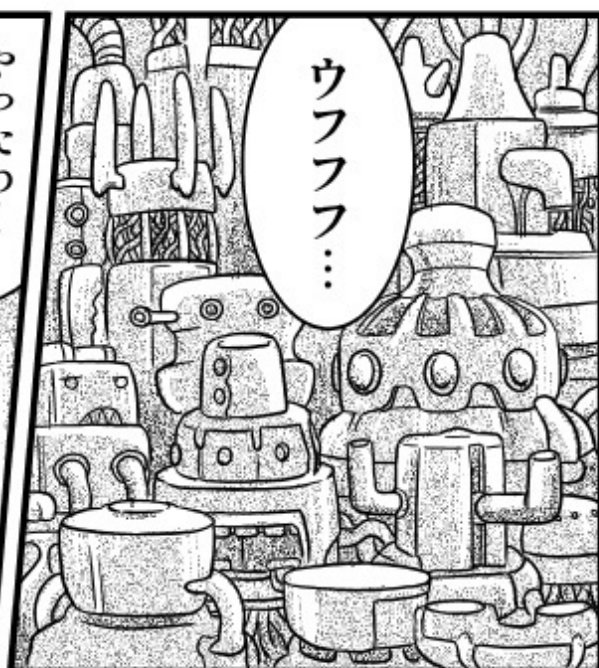


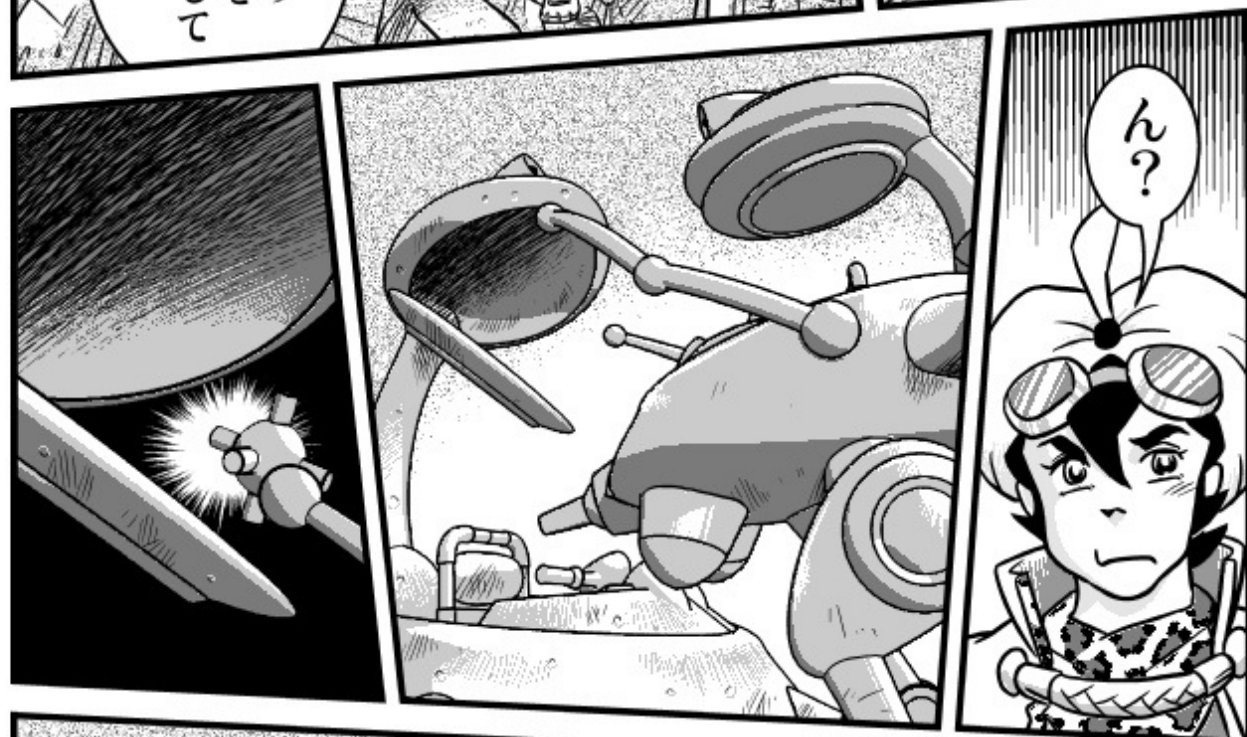
ワタシト
同型機デス

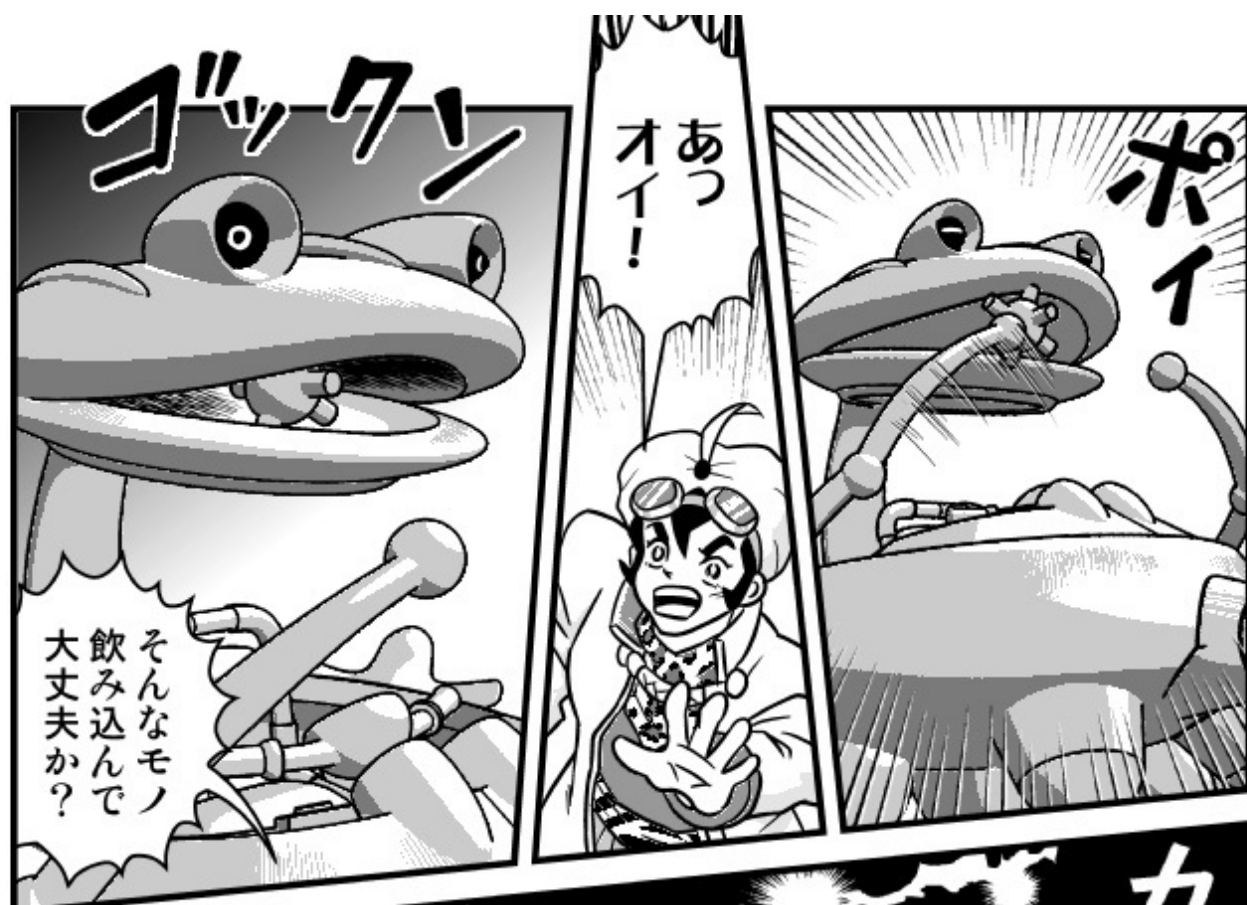


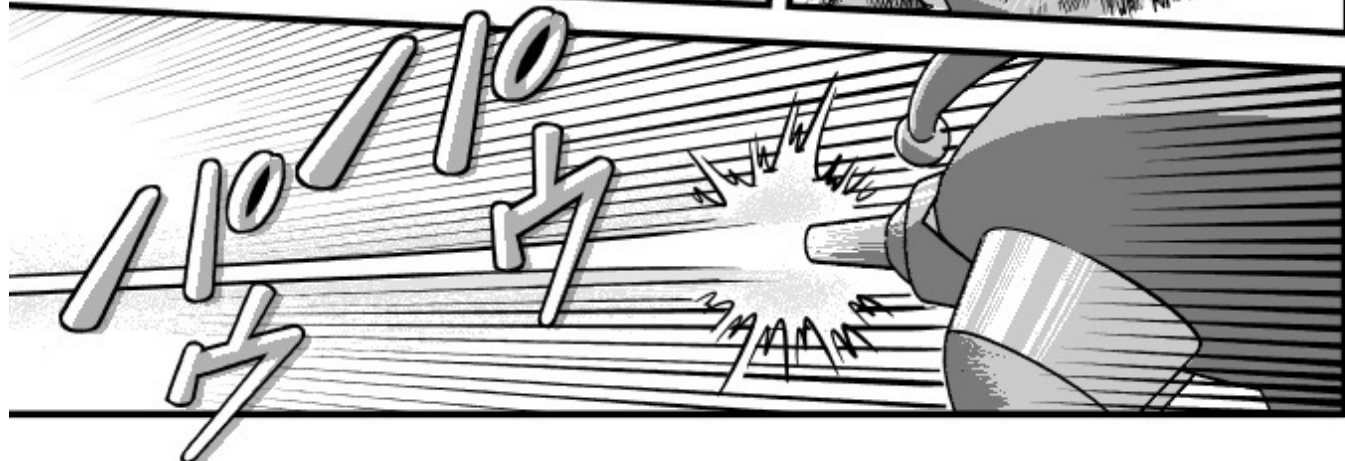
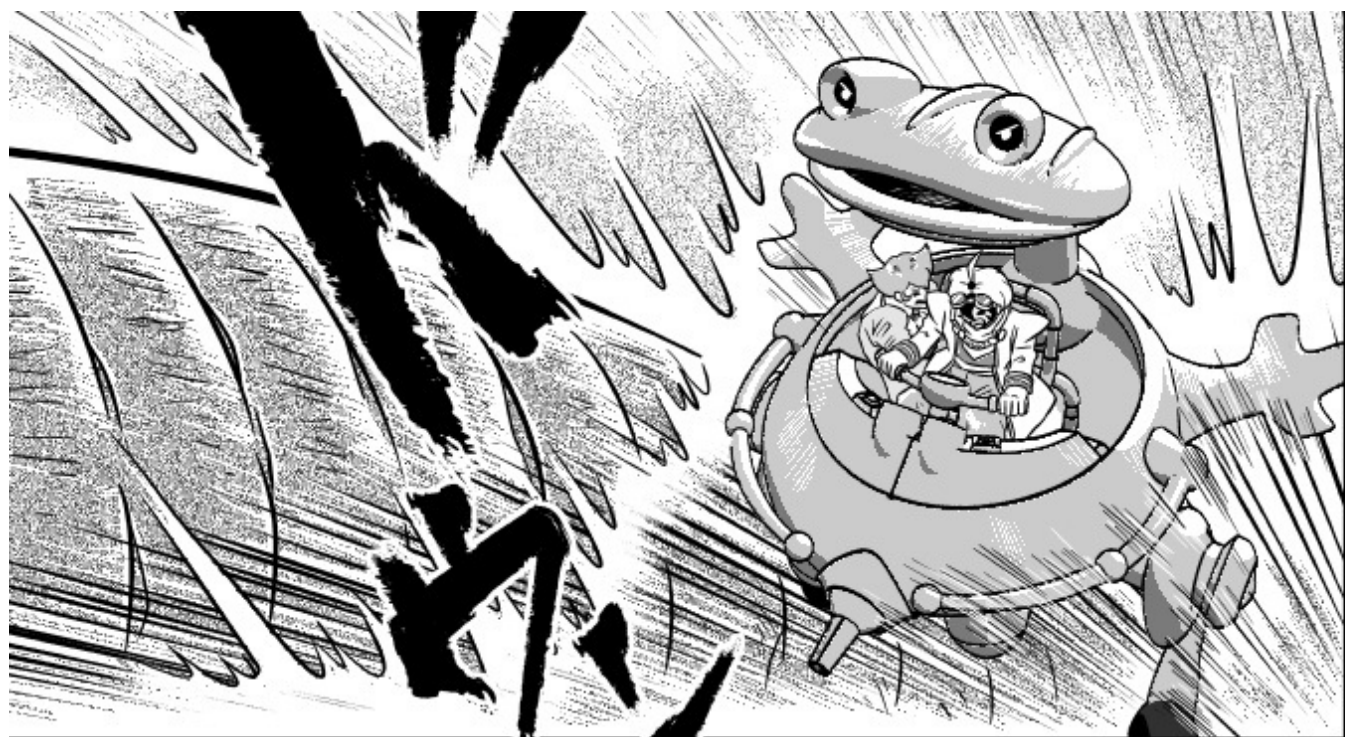
そのへんに
ビーム放射砲
の砲身が
転がってる
はずだが…



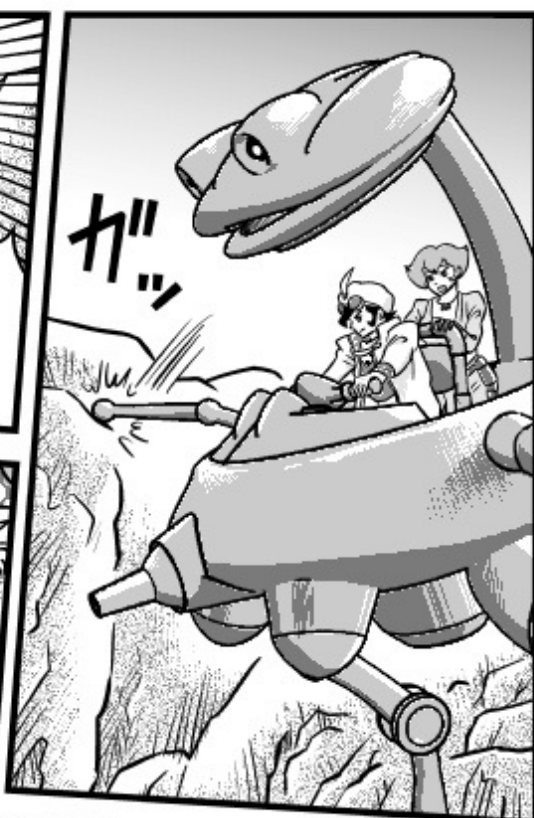




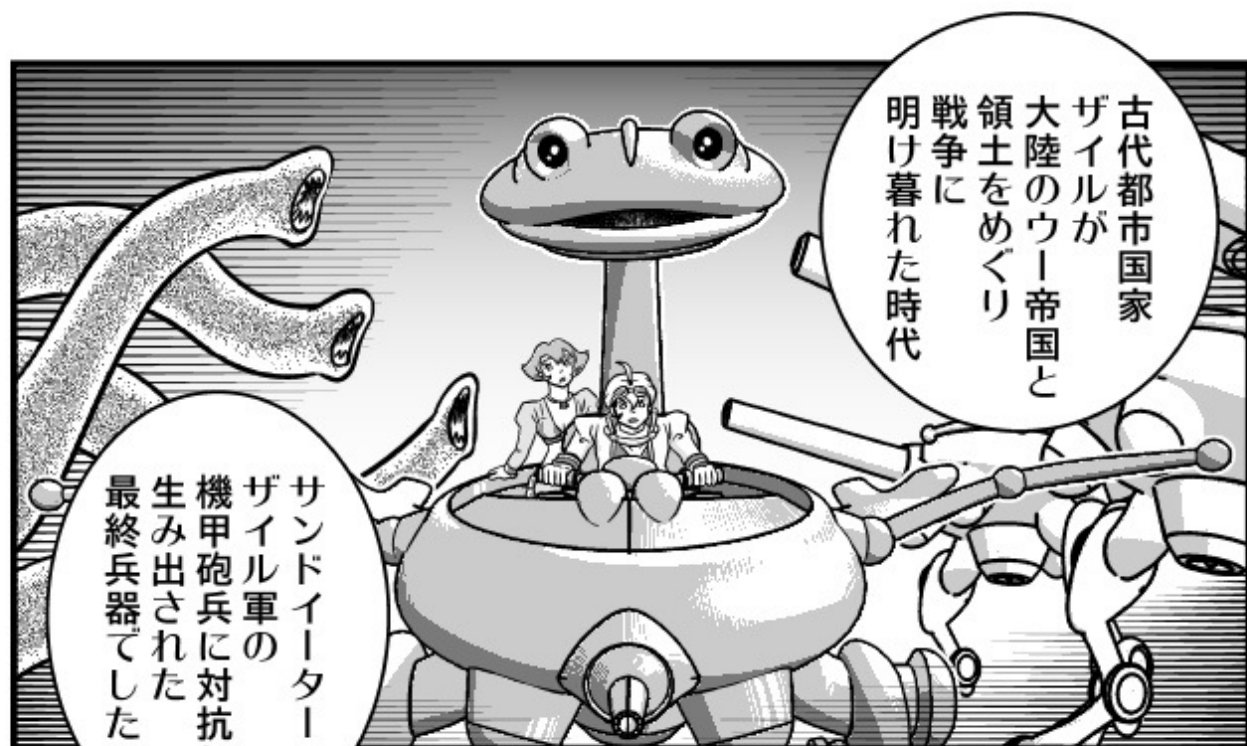


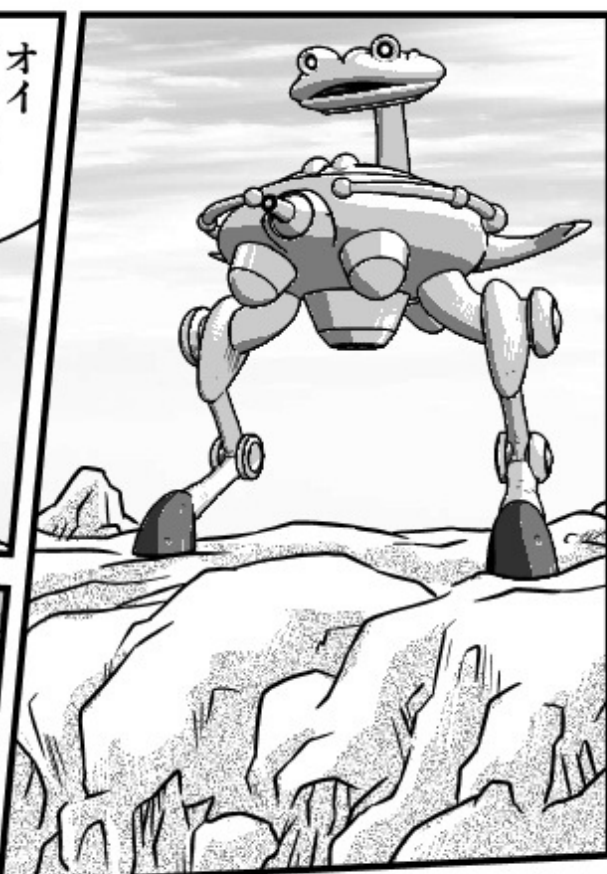


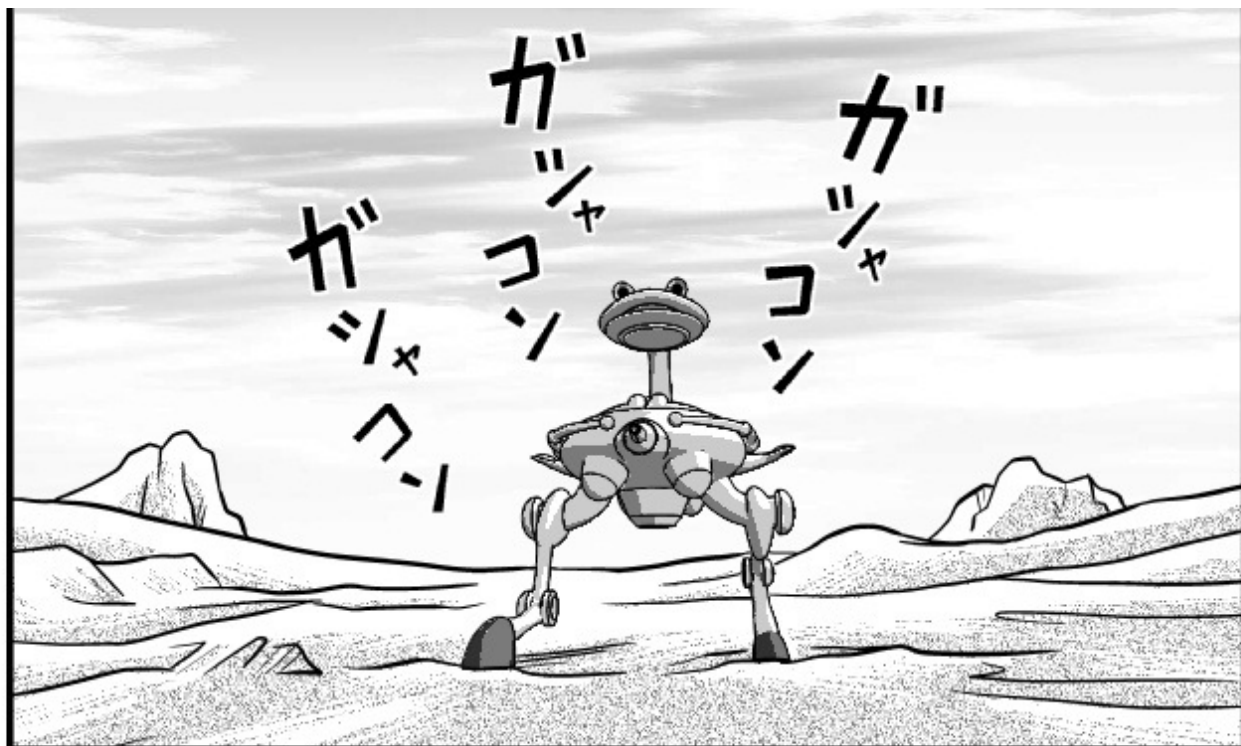














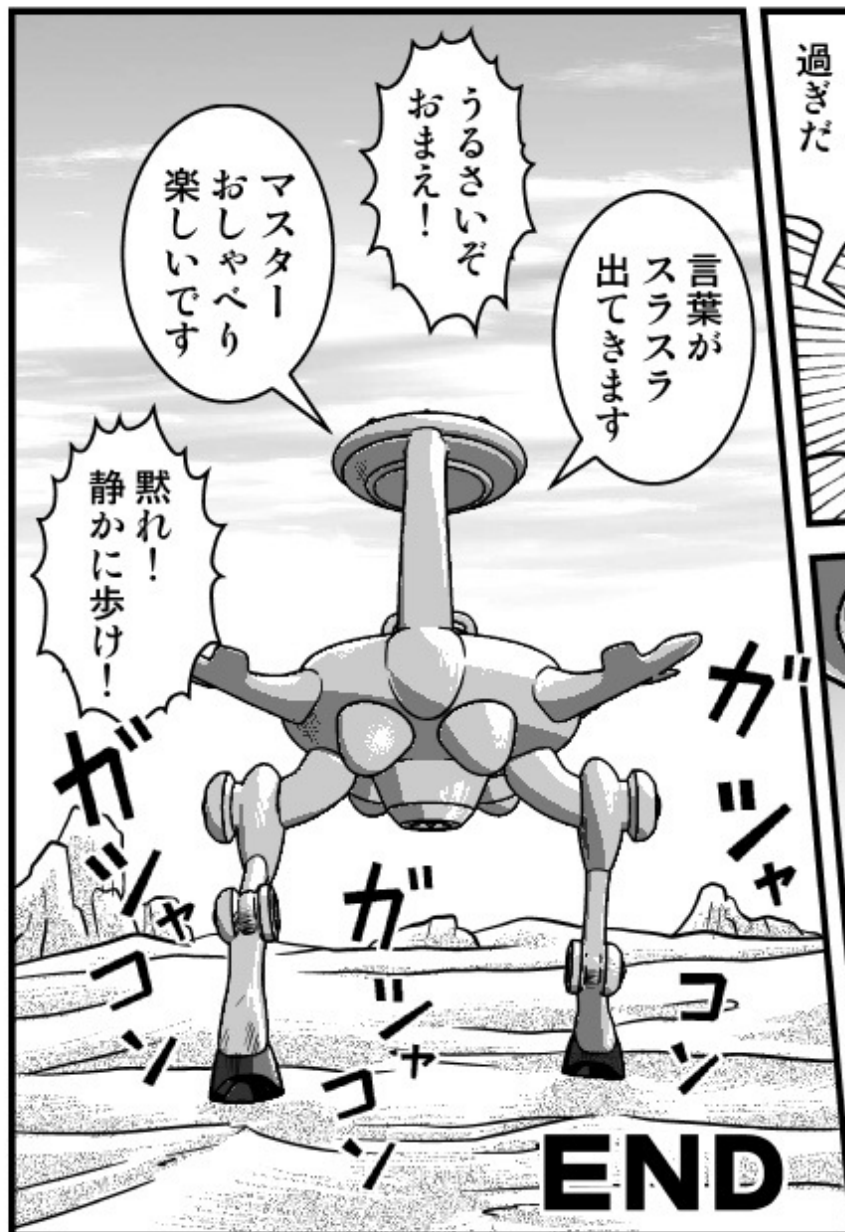
過ぎたるは
及ばざるが
ごとしって
ことです

単発砲で
充分ですよ
マスター



ビーム放射砲か…
装備したほうが
カッコイイけど

…でもマア
今のままでも
悪くないさ



マスター
おしゃべり
楽しいです

うるさいぞ
おまえ!

言葉が
スラスラ
出てきます

黙れ!
静かに歩け!

END



ゲロック
おまえ
変だぞ!
ペラペラ
しゃべり
過ぎだ



ハイ
あの記憶チップに
言語能力の
アップデータが
含まれていた
ようなんです

銃人ゼロ

<http://p.booklog.jp/book/54057>

著者 : isa6si

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/isa6si/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/54057>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/54057>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブクログ